

# ひかりのこ

3月園便り

認定こども園  
聖ミエル幼稚園  
2023年2月17日

月主題：信じて進む

## 「大型かるた」

1月末、預かり保育の子どもたちが、大きな大きなかるたで遊んでいました。全て手作り。『こんとあき』『はらぺこあおむし』など、子どもたちの大好きな絵本をまねて、上手に描かれています。

かるたの読み札の文句も、「あおいぼうし あかいぼうし ぐりとぐら」「おかあさんやぎに ばけた わるいオオカミ」「のんびりひるね ばばあちゃん」などと、オリジナリティにあふれています。読み札の一覧表の下には『えほんさーくる 1995 みんながたのしくあそんでくれることをねがって』と書かれています。今から、27年前の園児のお母様方が作ってくださった大作なのです。

かつてミエル幼稚園の保護者だった瀬野尾三奈子先生のお話では、三奈子先生のお子さんが在園していたころには、このかるたはもうあったそう。三奈子先生の絵本サークルの代は、この大型かるたの箱を作ったそうです。箱もとってもかわいくて素敵です。

27年前のお母様方は、こんなに永く、このかるたが子どもたちに愛されていることをその時想像したでしょうか。ひと世代前のかるたが、毎年1月になると日の目を見て、現代の子どもたちも同じように楽しめていることに、感慨を覚えます。

かるたを取った子どもたちは、誇らしげに、かるたを二人がかりで、よいしょよいしょと運んで、山積みにしていました。みんなほっぺを真っ赤にして、一心に札を読む先生の声に耳を傾けて、とっても楽しそうでした。

幼稚園には、お母様方が作ってくださった、大型紙芝居もたくさん保管されています。昔も今も、幼稚園の子どもたちみんなを大切に下さる、保護者の皆様へ感謝です。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「自分の味」

ある人生相談の中に、自分の容姿や性格にコンプレックスを持ち、自信をもてずに苦しんでいるという大学生の声が寄せられました。彼の表現では、自分の姿がダサい、性格が暗い、そのくせ人を非難する。人に好かれるわけがない。そんな自分が嫌で仕方がない、この先、どうやって生きていけばいいのかという悩みです。それに対して回答者は、容姿がいいか悪いか、性格が明るい暗いか、そんな両極の2つの種類に人を分けられるだろうかと問いかけます。どちらかではなく、すべての人は中庸ではないかと言うのです。その上で、「いい人」を目指すのではなく、「味のある人」を目指そうと結びます。

味のある人、っていい言葉ですね。他人との比較で見るとは、自分だけが持っている味を大切にしていけたら、肩の力が抜けて随分楽になるのではないのでしょうか。聖書の言葉でいえば、「あなたがたは地の塩である」という言葉を思い出します。調味料でもあり、防腐剤としても古くから使われているものです。私たちは、どんな人でも塩の効き目をもって、周りを豊かにする力を持っているよという、イエス様のメッセージです。

何より大切なことは、自分の味とともに、周りの人の中に、その人が持っている味を感じ取ることではないのでしょうか。簡単に人を評価したくなる気持ちをちょっと抑えて、その人の良い味を感じ取ることができたら、きっと見方も変わっていくかも知れません。

チャブレン 司祭 下澤 昌